

今回の内容：会議情報

会議情報

最近の消費者安全調査委員会での議論についてお知らせします。

第57回消費者安全調査委員会（平成29年5月29日）

- 体育館の床板の剥離による負傷事故
体育館の床板の剥離による負傷事故について審議し、報告書を取りまとめ、公表するとともに、文部科学大臣に対して必要な対策を求めるとしました。

本件事案は、体育館の床板の一部が剥離し、腹部に突き刺さり被災者が重傷を負った事故について、事故等原因調査の申出を受けたことをきっかけとして情報収集をしたところ、平成18年から平成27年までの間に、申出を含めて同種又は類似の事故が7件発生していたことから、平成27年9月に調査を開始したものです。

（参考1）体育館の床板の剥離による負傷事故の事例

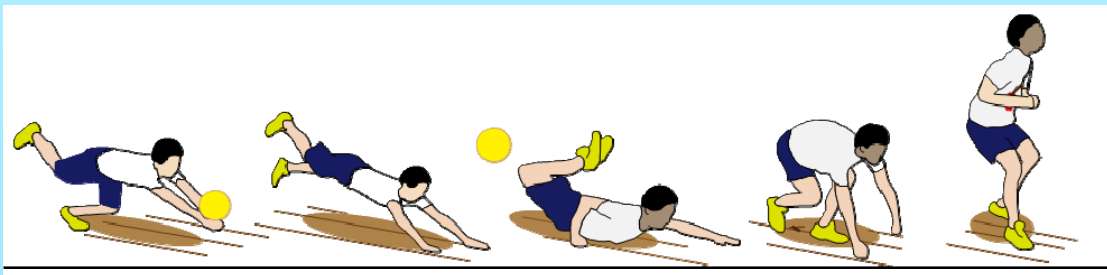
発生年	竣工又は木製床の全面改修から事故発生までの年数	被災者の動き	負傷部位	入院日数
平成18年	16年	バレーボール	胸部	1週間～10日程度
平成23年	8年	バレーボール	胸部	7日間
平成25年	2年	バレーボール	腹部（内臓損傷）	27日間
平成25年	26年	バレーボール	腹部	4日間
平成26年	31年	バレーボール	腹部	12日間
平成27年	25年	フットサル	背中（内臓損傷）	24日間
不明	不明	バレーボール	左大腿部から下肢	不明

（注）消費者庁の事故情報データベースに寄せられた事例は2件。それ以外の5件は報道情報によるもの。このほかに、報道情報によれば、2件の軽症の事故があった（平成24年、平成27年に発生）。

本調査では、事故の発生した体育館の現地調査や、全国の学校や公共施設を対象としたアンケート調査を行い、床板の不具合を生じさせた要因及び事故の発生を未然に防ぐことができなかった要因を示しました。

床板の不具合を生じさせた要因としては、木製床の使用に伴う劣化のみならず、設計・施工、維持管理及び利用の各段階における床板の過度な水分の吸収やその乾燥の影響等が考えられるということ、また、事故の発生を未然に防ぐことができなかった要因としては、点検がなされていても、それが有効でなかった可能性が考えられました。なお、点検については、その重要性が認識されておらず、点検がなされていないというアンケート調査結果も見られました。

（参考2）床板に滑り込み、腹部に突き刺さり負傷する事故



今回の内容：会議情報

会議情報

調査委員会では、以上のように要因を整理し、再発防止策として、
①計画的な改修の必要性、②床板に対する水分その他の影響を最小限にすることの重要性、
③利用者も含めた関係者間における、清掃や有効な点検方法などの維持管理に関する情報共有の必要性を示しました。

また、事故が発生した場合の現場の写真撮影、発生位置の記録の必要性を示し、消費者事故情報の一元化の観点から、それらの消費者庁への情報提供についても求めています。

詳細は以下をご覧ください。

<http://www.caa.go.jp/policies/council/csic/report/index.html>

(参考3) 日常管理用の注意表示モデル(報告書P.23より)

スポーツフロア・維持管理の心掛け

- 1、体育館の使用前・使用後は体育館専用のモップで清掃してください。
○水拭きは避けてください。
- 2、ワックス掛けは避けてください。
○ワックスは塗布後1か月くらいから滑りやすくなります。
○ヒールマーク(靴でこすれた跡)が著しく付きます。
- 3、ラインテープを貼る場合の注意。
○床塗装後3か月以内はテープを貼らないでください。
○専用のラインテープを貼り、使用後は速やかに剥がしてください。
- 4、体育館は土足禁止とし、入口にはマットを敷いてください。
○外部からの水分・ワックス・土砂の持ち込みを防いでください。
○土足で使用する場合は、フロアシートなどで床を保護してください。
- 5、傘などの尖った物・硬い物の持ち込みは禁止してください。
- 6、重量物を移動する時は、合板などで床を保護してください。
- 7、許容荷重以上の重量物を持ち込むときは、床下地メーカーに相談してください。

出典：「スポーツフロアのメンテナンス」(平成27年5月11日4版) p.18を基に作成

○ 一般の方からいただいた「申出」事案

事務局から、類似事例、制度等の関連情報や専門委員の見解などの情報収集の結果が報告され、その内容に基づき調査委員会で検討した結果、そのうち2件については調査を行わないことになりました。残りの案件(36件)については、引き続き、臨時委員、専門委員等の知見も活用しながら、事務局で丁寧に情報収集を行った上で、調査委員会において判断していくこととなります。

部会の動き

○製品等事故調査部会(5月中旬に開催)

・家庭用コージェネレーションシステム事案

音測定、体感との対応関係の調査とともに、健康症状の軽減方策について議論を行いました。

・申出事案

レポート案件1件を含む申出に関する情報収集内容について議論を行いました。